

仕 様 書		仕様書番号	T-040440C01~04			
		図面番号	T-040440C01	設 変	k	頁
製品名	通信・信号用保安器 型式：CLP-H3「」JK	制 定 日	2005/01/25	改訂日	2013/01/29	
		作 成 部 門	営業技術部			

1. 概要

本製品は、通信・信号回路に誘起される異常電圧から、通信・信号機器を保護するための通信・信号用SPDです。本製品は、SPDプラグとジャック盤で構成されています。

2. 環境特性

2.1 使用場所	機器室および器具箱内
2.2 定格使用温度	-40℃～+70℃
2.3 定格使用湿度	96%以下(結露の無いこと)
2.4 保管温度	-40℃～+70℃
2.5 保管湿度	96%以下(結露の無いこと)
2.6 標 高	2000m以下

3. 構造

3.1 外観・構造・寸法

表1

種 類	型 式	外 観 図	備 考
SPDプラグ	CLP-H3a	T-040440A01	H3型 6V
	CLP-H3b		H3型 12V
	CLP-H3c		H3型 24V
	CLP-H3d		H3型 48V
ジャック盤	CLP-JK	T-030970A01	
	CLP-JKN	T-090560A01	
SPDプラグ+ジャック盤	CLP-H3aJK	T-040440A10	H3型 6V
	CLP-H3bJK		H3型 12V
	CLP-H3cJK		H3型 24V
	CLP-H3dJK		H3型 48V
	CLP-H3aJKN	T-040440A11	H3型 6V
	CLP-H3bJKN		H3型 12V
	CLP-H3cJKN		H3型 24V
	CLP-H3dJKN		H3型 48V

型式末尾「N」はねじ端子形になります。

取付方法:ジャック盤は、DINレール(幅35mm)への取付を標準としています。

3.2 表示

下記の事項をSPDプラグ上面に表示します。

- ①製造者名または商標 ②型式番号 ③最大連続使用電圧 U_c ④最大放電電流 I_{max} ⑤保護等級の分類IP
⑥製造年月 ⑦端子の識別(ジャック盤)

3.3 種類

本製品の構成については、表1のとおりです。

仕 様 書		仕様書番号	T-040440C01~04		
		図面番号	T-040440C02	設 変	k
製 品 名	通信・信号用保安器 型式：CLP-H3「」JK	制 定 日	2005/01/25	改訂日	2013/01/29
		作 成 部 門	営業技術部		

4. 性能

4.1 電氣的性能および保護性能を表2に示します。

表2

項 目	測定条件		性 能
1. 最大連続使用電圧 U_c	CLP-H3a		DC9V
	CLP-H3b		DC13.5V
	CLP-H3c		DC27V
	CLP-H3d		DC52V
2. 定格電流			DC100mA
3. 直列抵抗	DC100mA		$5\Omega \pm 10\%$
4. 挿入損失	DC~400kHz		1dB以下
5. 電圧防護レベル U_p	CLP-H3a	1.2/50 μ s 10kV	40V
	CLP-H3b		45V
	CLP-H3c		60V
	CLP-H3d		90V
6. 公称放電電流 I_n	8/20 μ s		10kA(片線 5kA×2)
7. 最大放電電流 I_{max}	8/20 μ s		20kA(片線 10kA×2)
	10/350 μ s		5kA(片線 2.5kA×2)
8. インパルスリセット	CLP-H3b	DC12V 500mA	30ms以下
	CLP-H3c	DC24V 500mA	
	CLP-H3d	DC48V 260mA	
9. 交流耐久性	50Hz 0.5A 1s		5回
10. インパルス耐久性	8/20 μ s 10kA(片線 5kA×2)		10回(カテゴリC2)
	10/350 μ s 5kA(片線 2.5kA×2)		2回(カテゴリD1)
11. 過負荷故障モード			モード2
12. 応答速度			3ns以下

注1)性能測定時の温度・湿度はJIS Z 8703(試験場所の標準状態)の標準状態温度 $20 \pm 15^\circ\text{C}$ ・標準状態湿度 $65 \pm 20\%$ によります。

注2)過負荷故障モードはJIS C 5381-21 過負荷での故障モードの規定によります。

4.2 機械的性能を表3に示します。

表3

項 目	性 能	
1. 外囲器に関する保護等級の分類(IPコード)	プラグジャック	IP20
2. 端子の識別	ジャック盤	あり(L1, L2, T1, T2, E表示)
3. 標準の取付方法	ジャック盤	DINレール(幅35mm)
4. 接続条件	ジャック盤	項目5

注1) 性能測定時の温度・湿度はJIS Z 8703(試験場所の標準状態)の標準状態温度 $20 \pm 15^\circ\text{C}$ ・標準状態湿度 $65 \pm 20\%$ によります。

仕 様 書		仕様書番号	T-040440C01~04			
		図面番号	T-040440C03	設 変	k	頁
製品名	通信・信号用保安器 型式：CLP-H3「J」JK	制定日	2005/01/25	改訂日	2013/01/29	
		作成部門	営業技術部			

5. 接続条件

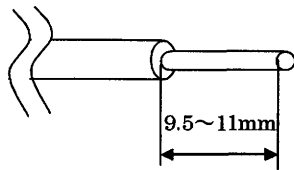
ジャック盤に実装されている端子部に接続可能なケーブルは以下によります。

より線、単線ともに

AWG22~9 断面積0.3~5.5mm²

ジャック盤に接続するケーブルの推奨端末処理は以下になります。

推奨締付トルク：0.4~0.8N・m(4~8kgf・cm)



ねじ端子形については以下の通りです。

ねじ寸法:M3、適用圧着端子:幅6mm未満、適正締付けトルク:0.59~0.78N・m(6~8kgf・cm)、厚み1mm以下、SPDの各端子(L,T)に接続可能な数量は1個のみです。

6. 検査条件

電気的性能、機械的性能、外観および寸法の検査を表4に示します。

表4

項目	検査の種類		性能	
	工程内検査	製品検査		
1. 動作電圧	全数検査	抜取検査	CLP-H3a	DC10mA 12.9~14.28V
			CLP-H3b	DC 1mA 19.0~21.0V
			CLP-H3c	DC 1mA 34.2~37.8V
			CLP-H3d	DC 1mA 62.8~69.4V
2. 直列抵抗	全数検査	抜取検査	表2によります。	
3. 挿入損失	-	形式検査		
4. 電圧防護レベル V_p	-	形式検査		
5. インパルスリセット	-	形式検査		
6. 過負荷故障モード	-	形式検査		
7. 応答速度	-	形式検査		
8. 公称放電電流 I_n	-	形式検査		
9. 最大放電電流 I_{max}	-	形式検査		
10. 交流耐久性	-	形式検査		
11. インパルス耐久性	-	形式検査		
12. 低温保存試験	-	形式検査	表5の試験後表2の特性を満足すること。	
13. 高温保存試験	-	形式検査		
14. 温度サイクル試験	-	形式検査		
15. 振動試験	-	形式検査		
16. 外観	全数検査	抜取検査	表1によります。	
17. 寸法				

注1) 抜取検査は原則としてISO2859(計数抜取検査手順と抜取表)の一回抜き取り、なみ検査とし、特別検査水準S-3によるAQL=2.5とします。寸法については、ロットの大きさに関係なくn=5とし、Ac=0、Re=1とします。

注2) 形式検査は新規製作時および重要な材料、製造方法を変更した時に生産工程にのせた第一ロットについて1台以上実施します。ただし、同種の製品で性能が確認できる項目については省略することがあります。

仕 様 書		仕様書番号	T-040440C01~04			
		図面番号	T-040440C04	設 変	k	頁
製品名	通信・信号用保安器 型式：CLP-H3「J」JK	制 定 日	2005/01/25	改訂日	2013/01/29	
		作 成 部 門	営業技術部			

7. 環境性能

本製品の環境性能を表5に示します。

表5

項目	試験条件	試験時間
1. 低温保存試験	Ta=-40±3℃	1000時間
2. 高温保存試験	Ta=+70±2℃	1000時間
3. 温度サイクル試験	<p>The diagram shows a temperature cycle between -40°C and +70°C. The cycle consists of three segments: a 30-minute dwell at +70°C, a 15-minute dwell at -40°C, and a 30-minute dwell at +70°C. A double-headed arrow below the cycle indicates that this sequence constitutes one cycle.</p>	30サイクル
4. 振動試験	JIS E 3014 2種 A種 振動周波数:40(Hz) 加速度複振幅:19.6m/s ² (2G)	15分/3軸

試験後、表2の性能を満足すること。

8. 包装形態と表示内容

8.1 包装形態

10個単位で段ボール箱に包装します。

8.2 段ボール箱に製品名、型式、ロット番号、RoHS、製造年月、数量、社名、カテゴリを表示します。

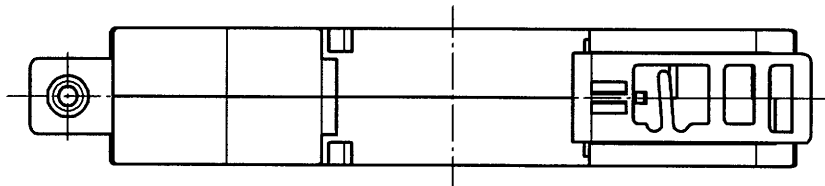
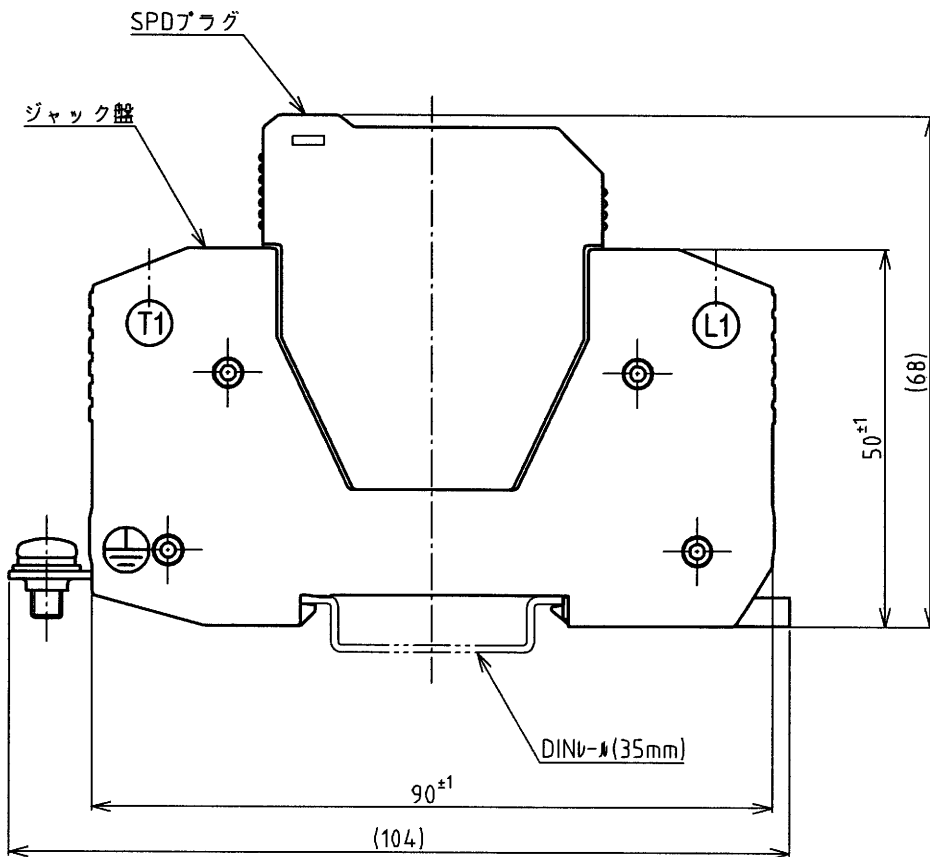
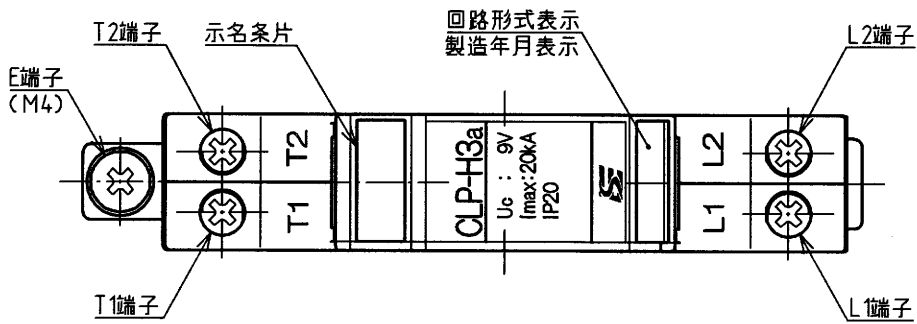
9. 品質保証期間と保証内容

本製品の保証期限はご納入日より1年です。この間に発生した故障は原因が明らかに当社の責任と判断された場合に限り良品と交換いたします。

10. 環境対応(RoHS指令対応)

本製品は、「鉛」、「水銀」、「六価クロム」、「カドミウム」、「PBB(ポリ臭化ビフェニール類)」、「PBDE(ポリ臭化ジフェニルエーテル類)」を意図的に使用しておりません。

以 上

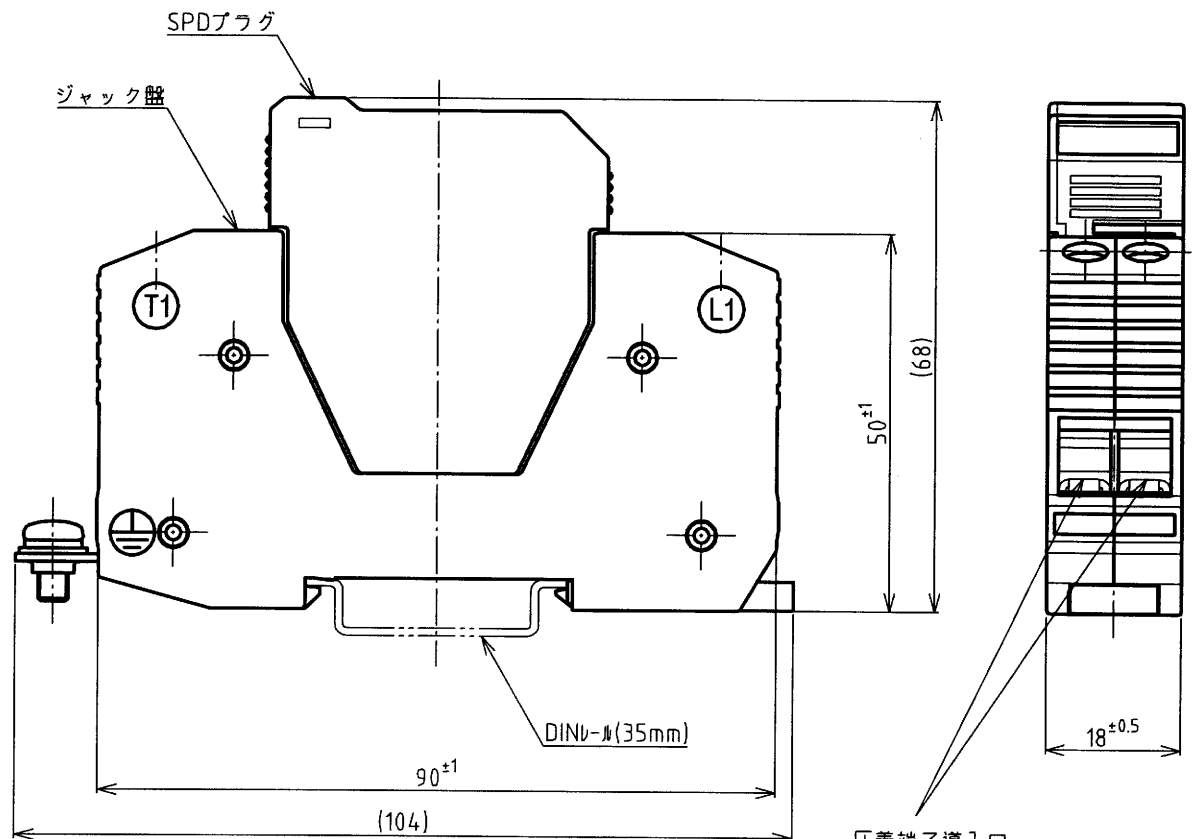
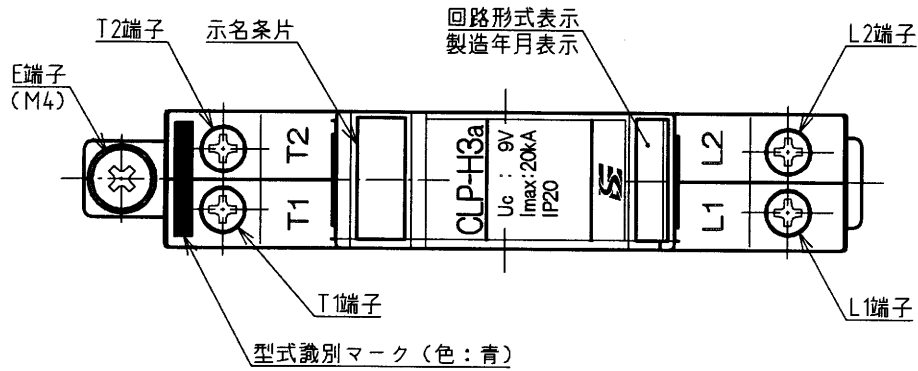


(注記)

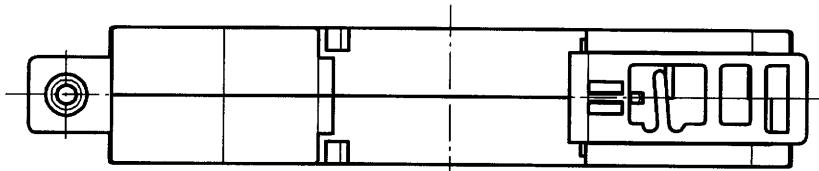
図面は「a」タイプで表示しており、CLP-H3a,H3b,H3c,H3d共通外觀図になります。

DSN	営業技術部	'05.01.25	UNIT	mm		TITLE 通信・信号用保安器 CLP-H3「J」JK形	
DWG	S. ARAKI	'11.11.28	SCALE	1:1		DWG No.	REV.
CHK	M. Kimura	'11.11.29			T-040440A10		b

無断転用禁止



圧着端子導入口
 適用圧着端子 L、T端子ともに
 M3用 幅 \sim 6.6mm 未満、
 厚み1mm以下
 接続可能数量 1個



(注記)

図面は「a」タイプで表示しており、CLP-H3a,H3b,H3c,H3d共通外観図になります。

DSN	営業技術部	'11.03.18	UNIT	mm		TITLE	通信・信号用 SPD CLP-H3「 JJKN形
DWG	N. nakata	'12.07.20	SCALE	1:1		DWG No.	T-040440A11
CHK	M. Kimura	'12.07.27			REV.	C	

CLP-H3 「J」 JK 形取扱説明書

1. 概要

本製品は、雷保護ゾーン領域(LPZ1, 2)での通信・信号回路に誘起される異常電圧から、通信・信号回路に接続されている各種対象機器を保護することを目的としたものです。

2. 各部の名称

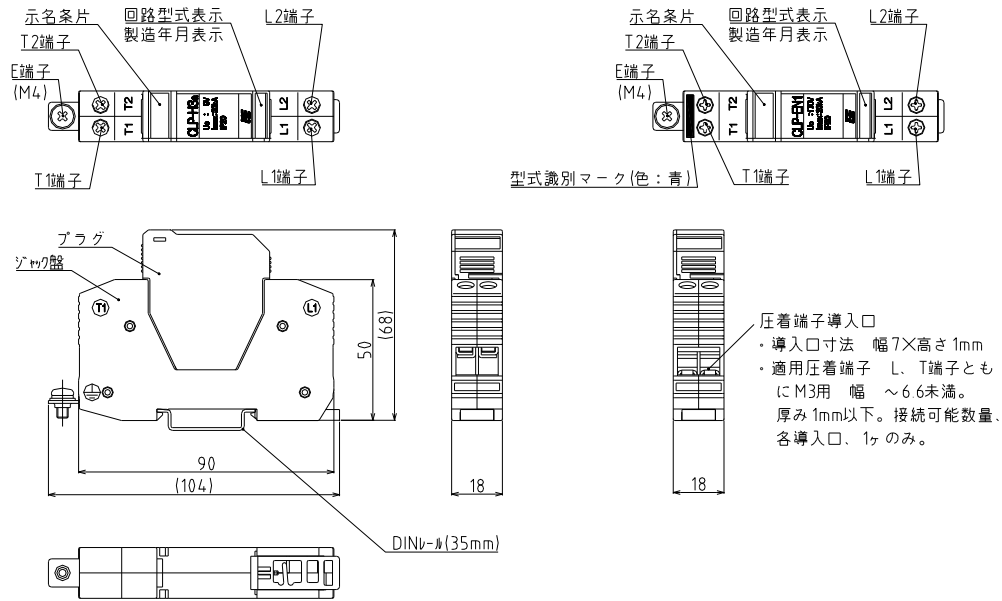


図1 (図面はH3a形、右図:ねじ端子)

3. 種類と型式

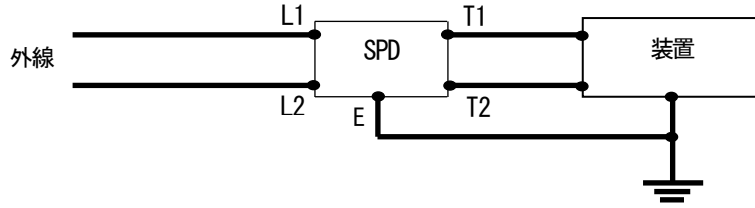
種類	型式	備考
SPD プラグ	CLP-H3a/b/c /d	H3型: 6V/12V/24V/48V
ジャック盤	CLP-JK、CLP-JKN	
SPD プラグ+ジャック盤	CLP-H3aJK、JKN/ bJK、bJKN/ cJK、cJKN/ dJK、dJKN	H3型: 6V/12V/24V/48V

型式末尾「N」はねじ端子形になります。

4. 仕様

項目	測定条件		性能
1. 最大連続使用電圧 U_c	CLP-H3a		DC 9V
	CLP-H3b		DC13.5V
	CLP-H3c		DC27V
	CLP-H3d		DC52V
2. 定格電流			DC100mA
3. 直列抵抗	DC100mA		$5\Omega \pm 10\%$
4. 挿入損失	DC~400kHz		1dB 以下
5. 電圧防護レベル U_p	CLP-H3a	1.2/50 μ s 10kV	40V
	CLP-H3b		45V
	CLP-H3c		60V
	CLP-H3d		90V
6. 公称放電電流 I_n	8/20 μ s		10kA (片線 5kA×2)
7. 最大放電電流 I_{max}	8/20 μ s		20kA (片線 10kA×2)
	10/350 μ s		5kA (片線 2.5kA×2)
8. インパルスリセット	CLP-H3b	DC12V 500mA	30ms 以下
	CLP-H3c	DC24V 500mA	
	CLP-H3d	DC48V 260mA	
8. 交流耐久性	50Hz 0.5A 1s		5回
10. インパルス耐久性	8/20 μ s 10kA (片線 5kA×2)		10回 (カテゴリ C2)
	10/350 μ s 5kA (片線 2.5kA×2)		2回 (カテゴリ D1)
11. 過負荷故障モード			モード2
12. 応答速度			3ns 以下

5. SPD 接続例

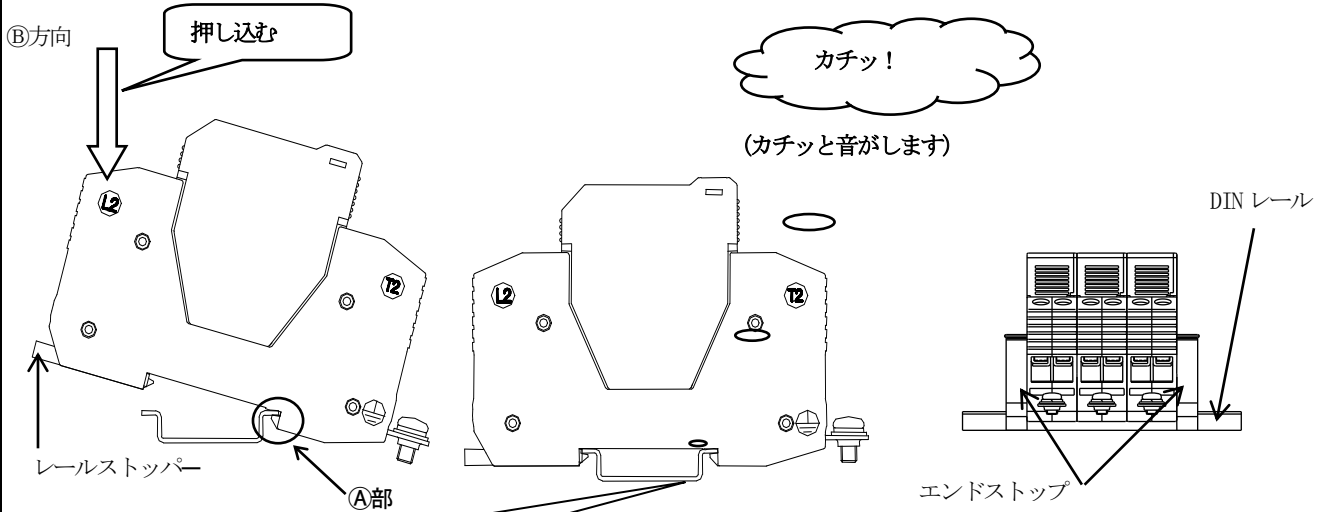


6. SPD の取付け・取り外し方法

○DIN レール(35mm 幅)に取付ける場合

(1) 取付け方法

①A部をレールの一端に引っ掛け、②B方向に押し込んでください。



DIN レール
(注意) 適応レールはDIN規格 35mm幅を使用します。

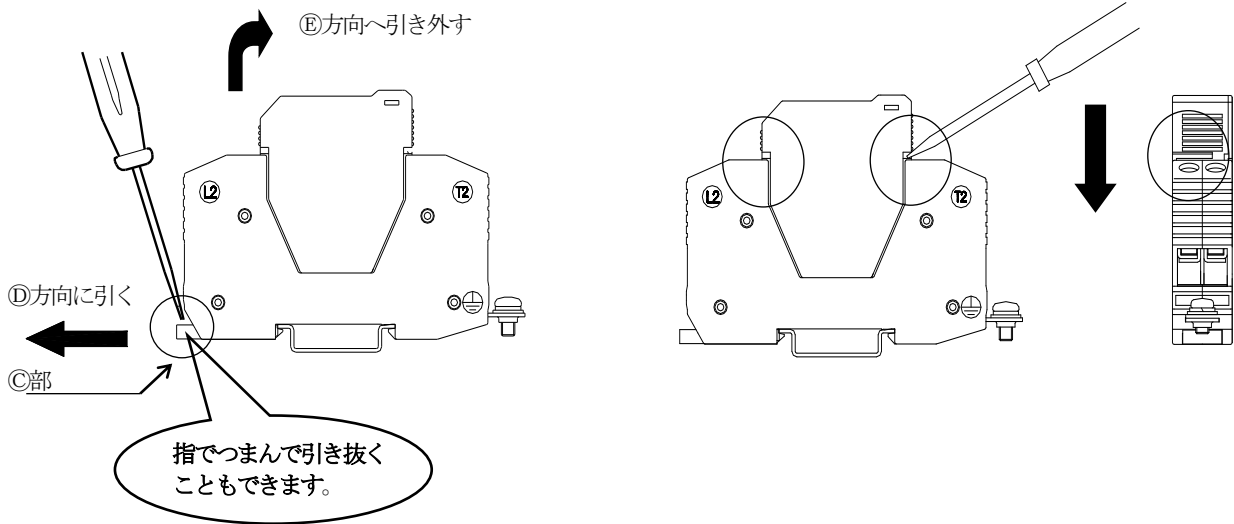
レールへの固定を確実にするために両側をエンドストップ (別売品) で固定してください。

(2) 取外し方法

- ③C部にマイナスドライバー等を差し込み、
- ④方向に引きながらE方向に引き外してください。

(3) プラグの抜取方向

プラグは抜き取り可能ですが、下記図のようにマイナスドライバー等をプラグとジャックの隙間に引掛け、矢印方向に倒す事で容易に抜き取れます。



7. SPD の配線方法

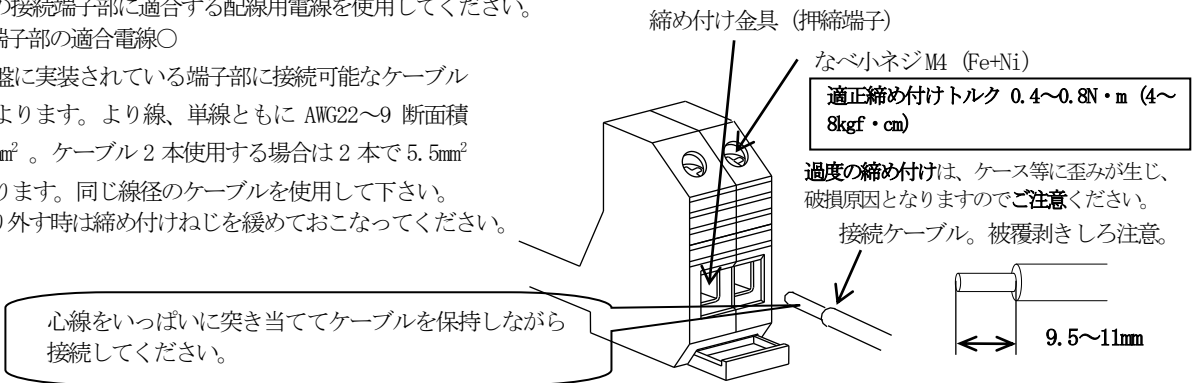
○通信・信号線はL側端子(L1, L2)に接続してください。ボンディング用導体(接地用引込み線)は、接地側端子(⊕側)に接続してください。

■本製品の接続端子部に適合する配線用電線を使用してください。

○SPD 接続端子部の適合電線

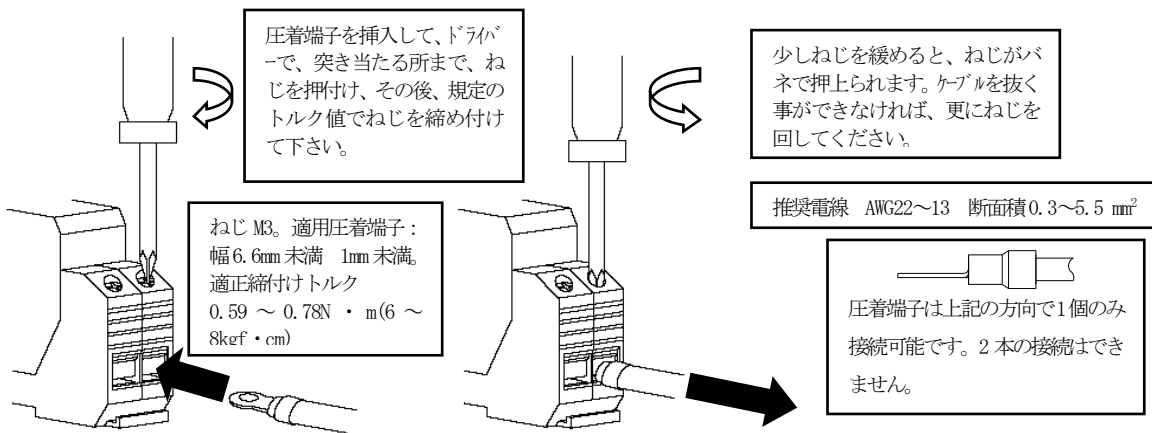
ジャック盤に実装されている端子部に接続可能なケーブルは以下によります。より線、単線ともに AWG22~9 断面積 0.3~5.5mm²。ケーブル 2 本使用する場合は 2 本で 5.5mm² までとなります。同じ線径のケーブルを使用して下さい。

○配線を取り外す時は締め付けねじを緩めておこなってください。



○ねじ端子配線方法

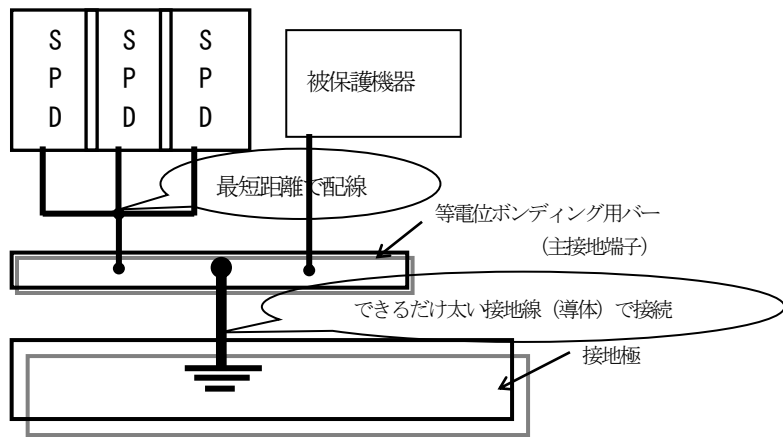
ねじ端子形の配線は以下の通りです。



8. SPD の接地方法

SPD 接地端子と非保護機器接地端子からは、規定のボンディング用導体を用いて最短距離で等電位ボンディングバー(主接地端子)に接続し、できるだけ太いボンディング用導体で接地極システムに接続してください。

○SPD 接地例



(注) SPD の接地端子が必ず接地されている事を確認して下さい。接地されていない場合には SPD としての機能が損なわれます。

9. SPD の保守・点検方法

SPD の点検は以下の項目を実施し、異常の認められたものは、新品と交換してください。1 年に 1~2 回程度点検することを推奨します。保守・点検をする場合、感電の恐れがありますので、必ず漏電遮断器、ブレーカ等を必ず切ってください。ケースを外したり分解しないで下さい。劣化の原因が正確に把握できなくなる事があります。

- SPD の各端子より配線を取り外してください。ただし接地端子は、取外す必要がありません。
- 外観を目視にて点検。(1)各端子にスパーク等の痕迹がないか。(2)ケースの変形がないか。(3)腐食等がないか。
- ライン抵抗の測定。(1)L1 端子と T1 端子間の直流抵抗を抵抗計(テスター等)を用いて測定して下さい。(2)L2 端子と T2 端子間を同様に測定して下さい。測定した直流抵抗が 4.5Ω~5.5Ω の範囲に入っていない場合は、不良と判定して下さい。

■保護素子の測定。T1 端子と E 端子間または、T2 端子と E 端子間の保護素子(ツェナーダイオード)に短絡がないかをテスターを用いて測定して下さい。

- (1) テスターのダイオード導通試験機能(ブザー等の音でダイオードの方向が分かるもの)にて測定して判定する方法。(測定時は、テスターの測定用リード線の赤色、黒色を下記に従って正しく接続して下さい)。①T1 端子(テスターの黒リード線を接続)-E 端子(テスターの赤リード線を接続)、②T2 端子(テスターの黒リード線を接続)-E 端子(テスターの赤リード線を接続)、③T1 端子(テスターの赤リード線を接続)-E 端子(テスターの黒リード線を接続)、④T2 端子(テスターの赤リード線を接続)-E 端子(テスターの黒リード線を接続)。①～④測定で音が出なければ正常です。
- (2) テスターの抵抗測定機能にて測定して判定する方法。(測定時は、テスターの測定用リード線の赤色、黒色を下記に従って正しく接続して下さい)。①T1 端子(テスターの黒リード線を接続)-E 端子(テスターの赤リード線を接続)、②T2 端子(テスターの黒リード線を接続)-E 端子(テスターの赤リード線を接続)、③T1 端子(テスターの赤リード線を接続)-E 端子(テスターの黒リード線を接続)、④T2 端子(テスターの赤リード線を接続)-E 端子(テスターの黒リード線を接続)。①～④測定でOL(オーバーレンジ)Vであれば正常です。

■SPDの取り付け。以上の項目で、異常のなかったものは、取り外した配線を元に戻してください。(注)各端子のねじが緩んでいる場合は、接触不良により測定が行えない場合があります。その場合はねじを軽く締め付けてから測定して下さい。

10. 保証について

- (1) 本製品は、専用の SPD プラグとジャック盤とセットでのご使用により、CLP-H3「J」JK 形としての性能を維持しますので、専用以外のジャック盤にてご使用された場合には、性能を保証できませんのでご了承ください。
- (2) 本製品の保証期限はご購入日より 1 年です。この間に発生した故障は、原因が明らかに当社の責任と判断された場合に限り良品と交換いたします。なお、本製品は、厳密な社内検査を経て出荷されておりますが、万一製造上の不備による故障あるいは輸送中の事故等による故障と思われる節は、お買い上げいただいた代理店または、弊社各支店にお申しつけください。

11. 安全上の注意

安全に関する重要な内容です。よくお読みの上、必ずお守りください。誤ったご使用をした場合、事故等により使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定されるものを『 ⚠ 警告』の欄に、また使用者が負傷を受けたり、物理的損害の発生が想定されるものを『 ⚠ 注意』の欄に示します。



警告

⊘ 禁止	本製品の使用目的以外での使用は絶対しないで下さい。◇火災、感電など、不慮の事故の原因となります。
⊘ 禁止	本製品は屋内用で非防水です。屋外などの水が直接当たる場所での使用はできません。◇火災や感電、絶縁不良の原因になります。
⊘ 禁止	本製品を分解、加圧変形、使用環境以上の加熱、改造または部品を変更して使用しないで下さい。◇火災や感電、故障、操作不良の原因になります。
⚠ 注意	SPD に結線するとき、または結線を外すときには電圧が無いことを確認してから行ってください。また、通電中に端子部分にはさわらないでください。◇感電、ショート等の原因になります。
⚠ 注意	本機器より煙、臭い等の異常を感じたら速やかに使用回線より切り離してください。◇感電、火災の原因になります。



注意

⊘ 禁止	本機器を水、シンナー等の溶剤で拭いたり、かけたりしないでください。◇(変形や割れ、故障の原因になります。)
⚠ 注意	本機器の汚れは、使用回線から切り離し柔らかい布等で拭いてください。◇(水洗いは絶対しないでください。)
⚠ 注意	本機器の端子は JIS 規格の M3 と M4 のなべ小ねじを使用しています。適合のドライバーにて配線の締め付けを行ってください。◇負傷、損傷、動作不良の原因になります。
⚠ 注意	端子への配線は圧着端子等の配線金具を使用し、リード線の引きまわしには余裕を持ち確実な配線を行ってください。◇負傷、損傷、動作不良の原因になります。
⚠ 注意	本機器は、プラグの挿抜において瞬断を防ぐ構造となっておりませんので、回線を停止するなどの処置をとってください。◇やむを得ずプラグを挿抜する際は、できるだけ速やかに実施してください。
⊘ 禁止	本機器には、落下等による衝撃を与えないでください。◇負傷、損傷、操作不良の原因になります。

お問い合わせ先

株式会社サンコーシャ

<https://www.sankosha.co.jp/>

info@sankosha.co.jp



問い合わせ先案内は、左の二次元コードか、URL の弊社ホームページをご覧ください